

事例名

2次方程式の実数解の個数

校種・学年 高等学校・1年

教科・科目・単元・題材 数学科・2次関数

学校名〈任意〉 京都府立鴨沂高等学校 事例報告者氏名〈任意〉 —

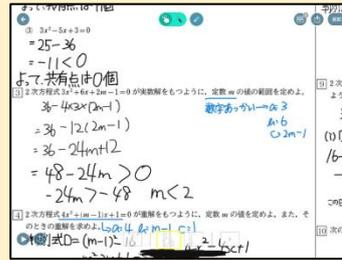
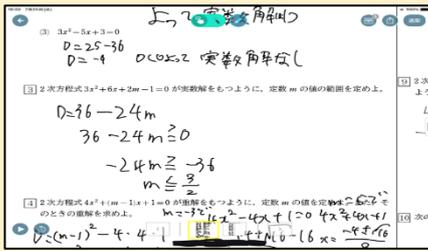
機能名（アプリ名） 提出機能（ロイロノート）

ICT 活用のポイント

生徒に配付された問題演習プリントについて、生徒の回答を提出させ、匿名で教室前面のスクリーンに映すことで、生徒は自身の回答との違いや正誤について考える。複数の生徒の回答を映すことで解法の違いや過程部分について生徒はより深く考えることができ、生徒主体で学ぶことができる。

活用場面

- ① 定数を含む2次方程式の実数解の個数について、条件を満たすような定数の値の範囲を求める問題について、教科書の例題を学習した後、問題演習プリントで類題を解く。
- ② 生徒が解き終わったら、ロイロノートの提出機能を使い、生徒は回答を提出する。



- ③ 生徒の回答について、解法が異なったり、答えが異なるものを取り上げ、前面のスクリーンに匿名で映す。
- ④ まずは個人で自分の回答と見比べ、誤りや異なる部分について考え、その後ペアや小グループで共有する。
- ⑤ 最後に、誤りやよりよい記述などについて解説を受けることで、さらに学びを深める。

授業者のコメント・児童生徒の主な反応等

「定数は数字扱いであるから  $2m-1$  はひとまとまりで考える必要がある。」  
 「この部分の式変形が誤っている。」  
 「問題文に書き込むことで整理されてわかりやすい。」  
 など様々な反応が見られた。解法が複数考えられるような問題であれば、より生徒の深い学びにつながると考えられる。